環境厚生分科会委員長報告

H 2 6 . 9 . 3 0

環境厚生分科会に付託されました平成 2 5 年度一般会計、各特別会計及び企業会計決算について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、平成 2 5 年度一般会計決算の本分科会所管分ではありますが、その主なものは、民生費及び衛生費であり、その内容は、市民の生活を守る各福祉事業、くらしに密着する環境衛生事業、健康を守る保健衛生事業などであり、おおむね予算に沿って、事務事業が執行されていきました。

本決算について、こども医療費助成は平成 2 2 年度に「子どもの医療費助成制度の拡充を求める請願」を採択しましたが、まだ実現されていないことに関して反対の討論がありました。

採決の結果は、多数をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成 2 5 年度国民健康保険事業特別会計決算ではありますが、国民健

康保険法に基づき、医療を保障し、福祉を増進するため事業が実施されており、適正な運営に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成25年度休日診療事業特別会計決算であります。休日等の応急的な診療を行い、市民に定着している事業であり、適正な運営に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成25年度介護保険事業特別会計決算であります。介護予防事業や各種介護サービスの実施等、適正かつ円滑な運営に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成25年度後期高齢者医療事業特別会計決算であります。保険証等交付、給付申請、保険料の徴収等を実施し、制度の円滑な運営に努められていました。

本決算については、制度自体への反対、短期証の発行に関して反対の討論がありました。

採決の結果は多数をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成25年度病院事業会計決算であります。経営の健全化・効率化に取組み、安定的な地域医療の提供に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

以上、簡単であります。本分科会の報告といたします。

環境厚生分科会

平成26年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	浄化槽設置整備事業 < 環境政策課 >	継続(改革改善)	平成25年度決算においては予算額と決算額とのかい離が大きく、改善が望まれる。今後は第5次亀岡市生活排水処理基本計画に基づき、目的及び効果を市民に周知し、適切な目標設定と予算化を行い事業促進に努められたい。 目的である公共用水域の水質汚濁防止、快適な住環境整備を目指した事業手法については、市の関与の仕方を含め検討が必要である。
2	こども医療費助成経費 < 子育て支援課 >	継続(拡充)	国や府に要望を行い財源確保に努め、子育て支援策として中学校卒業までの通院無料化(現物給付)を目指した事業の拡充に努められたい。
3	地域生活支援事業 < 障害福祉課 >	継続(拡充)	委託先と情報共有を行い、必要な人に必要な支援ができるよう、支援の内容を明らかにして施策の充実を図られたい。